



6 ISO14001への取組

環境マネジメントシステムを確実に導入するため、環境負荷の大きな大規模郵便局などを中心として、ISO14001の認証取得を展開しています。

ISO14001認証取得の全国展開

平成16年8月、モデル局の野田郵便局（千葉）及び枚方東郵便局（大阪）において、郵便局で初めて環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。

野田郵便局

〒278-8799 千葉県野田市野田617の3
TEL (04) 7122-3212

認定機関	(財)日本適合性認定協会 (JAB)
審査登録機関	(株)日本環境認証機構 (JACO)
適用規格	ISO14001:1996 JIS Q 14001:1996
登録認証番号	JACO EC04J0201
適用範囲	野田郵便局全域における郵便、郵便貯金、郵便為替、郵便振替及び簡易生命保険各業務並びに郵便局等の施設を利用して行うその他の業務
認証取得日	平成16年8月18日
取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ①電力使用量の平成15年度比3%削減 ②コピー用紙使用量の平成15年度比3%削減 ③ガソリン使用量の平成15年度比2%削減 ④事務用品のグリーン商品購入の推進 ⑤家電リサイクル券・自動車フロン券の販売（フロン券の受付は平成16年12月31日で終了） ⑥家庭系中古パソコンの回収 ⑦廃棄物の適正管理 ⑧使用済の切手・カードを社会福祉協議会へ寄贈 ⑨野田市とタイアップして市民への啓発活動（平成16年12月現在）

枚方東郵便局

〒573-0199 大阪府枚方市津田北町2-2-1
TEL (072) 859-0091

認定機関	(財)日本適合性認定協会 (JAB)
審査登録機関	(株)日本環境認証機構 (JACO)
適用規格	ISO14001:1996 JIS Q 14001:1996
登録認証番号	JACO EC04J0202
適用範囲	枚方東郵便局全域における郵便、郵便貯金、郵便為替、郵便振替及び簡易生命保険各業務並びに郵便局等の施設を利用して行うその他の業務
認証取得日	平成16年8月18日
取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ①電力使用量の平成15年度比2%削減 ②コピー用紙使用量の平成15年度比9%削減 ③ガソリン使用量の平成15年度比5%削減 ④事務用品のグリーン品目購入 ⑤家電・リサイクル券・フロン券の受付（フロン券の受付は平成16年12月31日で終了） ⑥家庭系中古パソコンの回収 ⑦局周辺の植木栽培、清掃活動（平成16年12月現在）



ISO14001への取組

ISO14001の認証取得をした野田郵便局(千葉)及び枚方東郵便局(大阪)での取組において、以下の成果があったことから、両郵便局での取組内容を参考にして、ISO14001の認証取得を含む、環境マネジメントシステムを展開することを決定しました。

成 果

- 電気使用量20%削減(対前年比)、紙使用量10%削減等、環境負荷削減に効果
- PDCAサイクルでの取組が、配達や営業ルート(効率的な道順等)の策定に繋がる等、日常の業務運行、課題解決に結びついた
- 職員の環境面での意識向上
- 他の郵便局への波及効果、地域における評価(企業イメージアップ)

全国展開の考え方

- 京都議定書が発効される等、環境負荷削減への取組が更に強く求められるようになる
- モデル局に見られる成果を水平展開することは有効なことであり、ISO14001の認証取得の取組を全国に拡大する
- 拡大に当たっては、環境負荷が極めて大きい地域区分局等のうち25局をパイロット局に指定、その後すべての地域区分局等に段階的な拡大を図る
- 認証取得しない郵便局においても、平成17年4月から、ISO14001を参考に簡略化した公社独自の「郵政公社版環境マネジメントシステム(簡易版マニュアル)」を展開、ブロック幹事局を拠点に実践指導し、その浸透・定着を図る

モデル局

(千葉)野田郵便局

(大阪)枚方東郵便局

パイロット局

北海道	(北海道)旭川中央局／(北海道)苫小牧局	東 海	(三重)四日市局／(静岡)静岡南局
東 北	(岩手)北上局／(山形)山形南局	近 畿	(京都)京都中央局／(奈良)奈良中央局
関 東	(埼玉)さいたま新都心局／(茨城)土浦局	中 国	(広島)福山局／(山口)下関局
東 京	(東京)葛飾局／(東京)調布局	四 国	(香川)高松中央局／(愛媛)松山西局
南関東	(神奈川)横浜郵便集中局／(神奈川)平塚局	九 州	(福岡)飯塚局／(福岡)久留米東局
信 越	(長野)長野中央局／(長野)松本南局	沖 縄	(沖縄)那覇中央局
北 陸	(石川)金沢中央局／(石川)新金沢局		



認証取得局の拡大に向けた取組

Step I

(H17.2~H17.11)

パイロット局25局+野田・枚方東局において、マルチサイト方式によりISO14001の認証取得に取り組む（※マルチサイト方式：単局でなく27局全体で取得）

取組

ISOの定める18要求項目61要求事項に沿って環境マネジメントシステムを構築

環境方針策定、環境側面の抽出、法規制確認

環境マネジメントプログラム作成・マネジメントマニュアル作成

環境教育・研修の実施、内部環境監査の実施

外部審査登録機関による本審査

推進体制

本社（CSR室）にISO専門スタッフを配置、27局のPDCAの推進を一元的に管理、支社は支社内パイロット局のマネジメントシステム構築をフォロー

パイロット局は、推進スタッフにより自局のマネジメントシステム構築に取り組む

コンサルタントによりマネジメントシステムの構築・運用に関するコンサルティング等を実施

平成17年11月16日に認証取得しました。

拡大

Step II

(H18.1~H19.3)

地域区分局及び郵便集中局の認証取得に取り組む

VOICE

ISO14001 認証取得に向けて

高松中央郵便局 総務課 上枝明彦



地球規模で環境への関心が高まる中、当局がパイロット局に指定され、ISO14001認証取得に向けて取り組むこととなりました。当局は、非常勤職員や取引業者も含めると457名という多人数。これだけの人数に対して、どのようにして意識を持ってもらうか。

そこでまず、推進体制を確立するために環境管理委員会の発足後、部門長及び各部門の環境管理委員を対象に、プロジェクト会議を毎週1回のペースで開催しました。職員向けには「日常業務の中で、できることから」取り組もうと、節電・節水・コピー用紙の削減等を呼びかけました。

また、職員通用口に「ISO情報掲示板」を設置、各事務室には分別できるごみ箱を配備することにより、リサイクルに対する意識の向上を図りました。

環境に対する取り組みは、企業体としての社会的責任です。環境マネジメントシステムで設定した環境目的・目標を達成するとともに、電気、水道の節約、ごみの減量等により地球環境負荷の低減に貢献できるよう、今後も継続して取り組んでいきます。

VOICE

草木の手入れで、気分爽快

旭川中央郵便局 総務課 沖崎愛子



平成17年2月にISO14001認証取得パイロット局のお話をいただき、現在、職員一丸となって環境負荷低減に向け取り組んでいます。

当初は「なぜ郵便局が環境？」という思いでしたが、第一の作業は、何が環境に影響を与えているのか、洗い出す作業から始まりました。鉛筆・消しゴム等の消耗品から電気・ガス・重油に至るまで、調べてみると多くのものがありました。次は、着手していく優先順位をつけ、絞り込む作業（環境側面）。そして、絞り込んだ環境側面を登録し、職員全員が取り組める計画書を作成、毎日行動しています。

私は「社会への貢献活動」の一環として、局周辺の「草木の手入れ」の実施責任者になり、月3回取り組んでいます。上司や同僚、ゆうメイトの皆さんと午前中の1時間程度ですが、朝日を浴びながら草取りや水まきをしていると、「心が洗われ、気持ちいい」と実感します。「地球環境を守っている!」と感じる今日この頃です。職員を代表して言えることは、「とりあえず1年間やってみる」。できることから始めよう!